

令和2年度（2020年度） 事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	泉佐野商工会議所		
	代表者職・氏名	会頭 濱崎 忠親		
	所在地	〒598-0006 泉佐野市市場西3丁目2番34号		
	担当者	職・氏名	中小企業相談所長 永田一夫	
		連絡先	TEL（直通）：	072-462-3128
Fax：			072-463-8780	
E-mail：	info@izumisano-cci.or.jp			
①設立年月日	昭和25年12月9日			
②職員数 （うち経営指導員数）	12名（経営指導員7名）（令和3年3月31日現在）			
③所管地域	泉佐野市・泉南郡田尻町			
④管内事業所数	5080（平成28年度経済センサス）			
⑤管内小規模事業者数	3226（平成28年度経済センサス）			
⑥会員数（組織率）	1144件（令和3年4月1日現在）			
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること				
<input type="checkbox"/> 主な事業概要（定款記載事項等）				
1. 商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、又は建議すること。 2. 行政庁等の諮問に応じて答申すること。 3. 商工業に関する調査研究を行うこと。 4. 商工業に関する情報及び資料の収集又は刊行を行うこと。 5. 商工業に関する講演会又は講習会を開催する。 6. 商工業に関する技術及び技能の普及又は検定を行うこと。 7. 博覧会・見本市等を開催し、又はこれらの開催の斡旋を行うこと。 8. 商事取引に関する仲介又は斡旋、仲裁を行うこと。 9. 商工業に関して相談に応じ、又は指導を行う。				

(1) 事業の目標

経営相談事業では、親切・丁寧に問題解決に向けたサービス提案を行い、小規模事業者が持つ強みを発揮できるように事業者自身が気づいていない潜在的な課題の掘り起こしを行い、解決に向けた支援を行う。特に金融支援や資金繰り支援では、その背景にある課題を見逃すことなくくみ取ることで、真の課題解決を目指す。自然災害等からの早期の復旧を目指し、事業継続を可能にするためのBCP支援を強化し、又、事業者支援のフォローアップを強化することで、支援効果を高める。事業者の強みを発揮できるように、土台となる経営基盤の強化を図る。専門相談では、複雑・高度な課題に対して、弁護士、税理士、社会保険労務士等の専門家の活用や各種支援機関の活用により、早期にスムーズな課題解決を目指す。地域活性化事業では人手不足問題への課題に向けて、就職フェア等の開催や外国人雇用を目指した事業等の実施により解決に向かう。また創業を人生の新たな働き方として選択する創業関心者の拡大を目指す一方で、自ら大胆に変革、新分野・新市場へ果敢に挑戦する事業者への支援を行う。事業と働き方のバランスを考えた新たなビジネスモデルの構築も重要なテーマであり、課題解決に向けた事業を実施する。また閑空の玄関都市として注目される中心市街地については、市町村等とも連携を図りながら事業を推進する。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

コロナ禍が続く中、事業所にとっては事業の継続を可能にするためにも事業計画の作成が、重要なテーマになっており、新たな展開の実現に向けて支援を行った。また資金繰りの改善を目指し補助金の獲得や公的融資制度の活用により資金の調達を図ることで、経営の安全性を高める支援を行った。また資金繰りと並行して、売上アップに取り組む必要があるため、コロナ禍の中で、「商工フェア」（人を集める手法）から「withコロナ時代に対応した逸品のPR事業」（人を集めないで実施する手法）へ変更し、新しい生活様式や消費動向の変化を捉えた事業を実施。市町村や関係機関との連携により優秀な人材確保と地域の雇用安定のための「合同就職面接会」を開催。withコロナ時代に対応した働き方や労務管理、働き方改革への取組方法等、職場環境の改善の一助となった。

(3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

経営相談支援事業においては、金融支援・資金繰り計画支援をはじめ、経営力強化に繋げる事業計画の策定支援、労務支援を中心に進めて、課題解決に務めた。withコロナ時代に対応した逸品（商品・サービス）を地域に浸透させることで、新しい時代を生き抜くチャンスとしたいという事業所のニーズに対応。また「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）を通じて、コロナ禍の中、事業所の知名度をアップすることができ、中心市街地の活性化の一助となった。「就職フェア」では、地域の優秀な人材を確保したいというニーズを結びつけることができ、またITの活用セミナーなどにより、生産性の改善やスキルアップ、働き方改革への対応等、その情報収集に繋がった。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

経営環境の長期的な悪化による課題解決については、金融機関をはじめ各種支援機関、専門家との連携を図り、なお一層強化して取り組む必要がある。「働き方改革」への対応は、小規模事業者においては、まだ敷居が高いと感じられている面もあるので、適宜、情報提供を行い、取組みを促進する必要がある。経営者の高齢化や後継者不在を要因に、廃業等の増加が想定されるため、円滑な事業承継に向けて、サポートすることが大切である。

(5) 次年度の取組み

関西国際空港の直近の街として、観光・飲食業をはじめとしてコロナの影響で痛手を受けている事業所の景気回復のためのサポートを引き続き行う。特に資金調達面で苦慮されており、事業計画作成支援を通じて、融資や補助金の活用により支援する。また地域の消費を支える市民の雇用に繋げるための「就職フェア」の開催により、地域活性化に繋げる。販路支援では、コロナ禍において、新しい生活様式や働き方に対応した取組が求められており、これらの課題に対応していくことで、コロナ後の新しい時代に向けての地域活性化に繋げる。本年3月に認定を受けた「事業継続力強化支援計画」に基づき、BCPの普及に取り組む。

3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 泉佐野商工会議所

I 経営相談支援事業

支援のポイント・成果

コロナの影響が長引く中、各種補助金の獲得を目指す事業所が増える中、事業計画支援が増加。計画作成を通じて、自社の強みや弱みを改めて認識する中で、経営改善が進んだ。コスト削減支援等も、増加。また金融支援（金融指導型・紹介型）への需要が増加し、それに伴って、資金繰り計画支援も増加した。創業支援については、コロナ禍の中、今後の見通しが見えない経済環境のため、開業の時期を検討されているケースが多くみられ、具体的な支援に結びつきにくかった。労務支援については、「働き方改革」等の課題から相談が増加している。販路開拓支援については、「時短要請」等、経営環境の悪化が進む中で、前向きな相談は少なかったが、一部では、新分野進出等、事業再構築に向けての相談が増えつつある。

<代表事例>A社

コロナ禍によって、居酒屋店などからの売掛金の回収が滞ってきた中、預金の取り崩しなどで、工面していたが、繁忙期に向けて商品の仕入資金が、不足することから、緊急に資金調達が必要になった。売上が大幅に減少する中、マル経の活用によって、まとまった運転資金を調達できたことで、得意先の要望に応えることができ、又、資金の調達ができたことで、経営の安全性が高まった。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	215	236	109.8%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	4	17	425.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	5	36	720.0%	5
金融支援（経営指導型）	支援数	97	75	77.3%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	0	0	-	-
資金繰り計画作成支援	事業所	65	60	92.3%	5
記帳支援	事業所	50	9	18.0%	3
労務支援	支援数	60	36	60.0%	3
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	-	-
マーケティング力向上支援	事業所	5	0	0.0%	3
販路開拓支援	支援数	60	11	18.3%	3
事業計画作成支援	支援数	25	58	232.0%	5
創業支援	事業所	10	1	10.0%	3
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	10	4	40.0%	3
コスト削減計画作成支援	事業所	10	39	390.0%	5
財務分析支援	事業所	50	55	110.0%	5
5S支援	事業所	0	0	-	-
IT化支援	事業所	5	0	0.0%	3
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	-	-
事業承継支援	事業所	10	0	0.0%	3
災害時対応支援	事業所	50	73	146.0%	5
フォローアップ支援	事業所	40	4	10.0%	3
結果報告	事業所	189	248	131.2%	5

II 専門相談支援事業

支援のポイント・成果

専門家へ繋ぐ前に、経営指導員が経営者の経営課題について、的確に把握した上で、専門家と繋ぐことを心掛けており、このことがスムーズな課題解決となり、満足度アップに繋がっている。税務相談では、税理士会との連携により、所得税や消費税の確定申告に係る課題解決について親切丁寧な対応で相談者の満足度が高かった。また法律相談では、弁護士により事業上のトラブルや民法関連等の課題解決、労務相談では社会保険労務士により、雇用関係や社会保険、36協定等、知財相談では、大阪府知財総合支援窓口の専門家に担当頂き、商標出願等の課題解決に結びついた。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
法律相談	継続	相談者数	10	12	120.0%	5
税務相談	継続	相談者数	12	10	83.3%	5
労務相談	継続	相談者数	4	10	250.0%	5
知財相談	継続	相談者数	4	5	125.0%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
<ul style="list-style-type: none"> ・「商工フェアIN泉佐野」では、コロナの影響で、人を集める手法では同フェアを開催することが困難となり、人を集めなくて実施できる手法へ転換。「withコロナ時代への対応～「一店逸品」紹介ガイドを作成、PRできたことで、コロナ禍での販路拡大に向けての一助となった。 ・「働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業」では、コロナ禍の中、感染症を視野に入れた働き方への変革が求められることから、その課題の抽出や解決に向けての取組み意欲の向上を図ることができた。 ・「泉佐野グルメガイド」（ナイトマップ）では、コロナの影響で休業や時短営業を行う店舗が多い中、新規顧客の獲得・自店の商品の強みを再認識し、販路開拓の意欲向上に繋がった。 ・「生産性向上はタイムマネジメントから」セミナーでは、労働時間管理に焦点をあて、これまでのやり方にとらわれず、業務効率、生産性向上を実現するための課題克服に繋がった。 ・「働き方改革は働きやすい職場環境づくりから」セミナーでは、魅力ある職場環境づくりに向けた取組みを、どのように進めればよいのか、又、働きやすい職場環境づくりへの取組み課題を克服するための方策について理解を深め、意識向上に繋がった。 ・「創業支援連続講座事業」では、創業にあたり必要な知識を効率よく吸収できる機会を提供できたことで、実践的・体験的に学ぶことができ、さらには夢に向かって歩いていく仲間ができたことで、創業促進に繋がった。 ・「IT/IoT導入支援事業」では、導入についての障壁の高さを感じている事業者が多い中、その障壁を少しでも抑えることが重要であるが、これを機会に導入意識の向上に繋がった。 ・「BCP感染症対策セミナー」では、新型コロナの最新情報と職場の守り方について学び、さらに新型コロナ感染症とBCPの基礎を学ぶことで、BCPへの関心を高め、意識の拡大に繋がった。 ・「ワークライフバランス啓発セミナー」では、ワークライフバランスを実現させるためのポイントを整理することで、今後の取組み意識が向上した。また企業体質改善による価値の向上について理解を深めた。 ・「就職フェア」では、これからの成長企業と、若年者等の求職者のマッチング機会を設けることで、学生等と中小企業の相互理解を深めることができ、雇用促進により地域の活性化に繋げることができた。 ・「訪日外国人満足度増加セミナー」では、外国人が来店された時にコミュニケーションを円滑に行えるようになり、相手のニーズを聞き出しやすくなったので、今後の顧客満足度アップにつながった。 ・「IT活用販路開拓支援事業」では、ITへの販路開拓へ特化させて実施し、ITを用いた新たな販路開拓や趣味の事業化を目指す方々の意識向上に繋がった。 ・「説明力向上セミナー」では、1分間説明トレーニングや聞き方トレーニング、即題トレーニング等を通じて、説明力スキルが身に付き、企業としての組織基盤の強化に繋がった。 										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
	商工フェアIN泉佐野	50.0	47.0	94.0%	83.4	新たな商品開発や品揃えについてのヒントを考えるきっかけとなったと感じた割合	70%	70.2%	100.3%	5
○	働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業	80.0	27.0	33.8%	84.4	withコロナ時代の働き方改革への対策の方向性が見えてきた事業所の割合	70%	75%	107.1%	4
	泉佐野グルメガイド(ナイトマップ)	50.0	41.0	82.0%	68.3	前年と比べて売上が上がった企業	70%	16.5%	23.6%	4
	「生産性向上はタイムマネジメントから」セミナー	15.0	8.0	53.3%	80.0	生産性向上に取り組む企業	3社	8社	266.7%	4
	働き方改革は働きやすい職場環境づくりから	15.0	6.0	40.0%	80.0	働きやすい職場環境づくりに取り組む企業	5社	6社	120.0%	4
○	創業支援連続講座事業	10.0	11.0	110.0%	98.0	創業を目指してこれから準備をはじめの方の割合	70%	65.0%	92.9%	5
○	IT/IoT導入支援事業(コロナパッケージ②)	15.0	3.0	20.0%	86.7	IT/IoT化への取組み意識の向上	70%	86.7%	123.9%	3

○	BCP感染症対策セミナー	15.0	12.0	80.0%	73.3	簡易版BCP「これだけは！」シート等のBCP作成企業数	15社	7社	46.6%	4
○	ワーク・ライフ・バランス啓発セミナー	15.0	7.5	50.0%	97.8	ワーク・ライフ・バランスへの取り組み意識の向上	70%	50%	71.4%	4

(2) 広域事業（幹事事業のみ）

府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足度(点)	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	就職フェア（合同就職面接会）	35.0	25	71.4%	49.7	若年者等との面談ができた事業所の割合	70%	26%	37.1%	4
	訪日外国人満足度増加セミナー	15.0	6.0	40.0%	95.0	訪日外国人へのコミュニケーション対策を検討する企業数	70%	40%	57.1%	4
	IT活用販路開拓支援事業	20.0	31.0	155.0%	71.4	ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった	70%	97%	138.6%	5
	説明力向上セミナー	21.0	26.0	123.8%	93.5	説明力の向上に繋がったと回答	80%	97%	121.3%	5

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調書の記載と合わせてください。

泉佐野商工会議所

事業名		商工フェアin泉佐野															
想定する実施期間		H 29 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	泉佐野地域では、タオルや農産物等、優れた特産品を生み出しているが、地域の産品をPRする場が少なく、知名度が不足している感がある。商業分野に限らず工業分野においても認知度向上に苦慮する製造業者を支援し販路拡大に繋げる必要がある。新型コロナウイルス感染症の拡大により、人を集める手法から人を集めないで実施する手法へ変更する必要があり、「商工フェア」という販路開拓の手法から「一店逸品紹介ガイド」を作成する手法へ変更する。これにより実施上のコロナへの対応が可能となり、同ガイドにより逸品の紹介・PRを行うことで、「事業者の思い」を事業に繋げていきたい。現状のコロナ禍においては、新しい生活様式へと変わろうとしており、それに対応する事業経営においても変化を余儀なくされている。withコロナ時代を生き抜くためには、多くの「不（不安・不満・不便）」が伴いますが、そこにビジネスチャンスがあり、新しい生活様式や消費動向の変化を捉え、「顧客満足度」をアップさせることが、地域の活性化に繋がる。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野・田尻地域の事業所で、withコロナ時代に対応した商品・サービスの提供の取組をしている事業所															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>泉佐野市・田尻町で「一店逸品検討委員会」を組織し、連携をはかり「泉佐野・田尻の一店逸品」ガイドを作成。現状のコロナ禍において、新しい生活様式へ変わろうとしている中、事業者にとってもそれに対応する事業経営が必要になってきています。そこでWithコロナ時代の新しい生活様式や消費動向の変化を捉えた「泉佐野・田尻ならではの」「オリジナリティ」「アイデア」「サービス」等を紹介。今後のコロナ対策を踏まえた新たな展開の可能性を探った。</p> <p>(募集期間) R2年10月1日～10月31日まで (配布物) 「withコロナ時代への対応～泉佐野・田尻の「一店逸品」ガイド (A2サイズ・4面) (業種) ・飲食業 14社 ・食品製造及び小売 9社 ・一般販売 小売 12社 ・サービス業 その他 12社 (計) 47社 (配布先) 市・町の窓口 公共機関 大学 掲載事業所 一般市民 他 (委員会の開催) R2年12月7日(月) PM1:30～ <議題> ・一店逸品事業の申込状況について ・今後のスケジュールについて ・その他</p>															
		<事業手法 (①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果) の具体的な連携・効果を記載> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>感染症対策としてのBCPへの取組みに向けてのきっかけにもなった。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知	④相談相乗	感染症対策としてのBCPへの取組みに向けてのきっかけにもなった。
	①府施策連携																
②広域連携																	
③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知																
④相談相乗	感染症対策としてのBCPへの取組みに向けてのきっかけにもなった。																
	計画に対する実績 (数値)	支援企業数(計画)	50	支援企業数(実績)	47	支援実績率	94.0%	満足度	83.4								
事業の実績 / 目標達成度	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	コロナの緊急事態宣言が再び出されたということの中で、消費に消極的な人々が多くなった経営環境の中で、「withコロナ時代への対応」を披露することで、こだわりの商品・サービスの魅力が、より消費者に響くことが期待でき、またアフターコロナへの方向性を探る上での情報収集等ができたことで、今後の展開に明るさを見いだせた。コロナ禍の中で、今後に向けて新たな気づきを得られた、又他店における取組状況が参考になったという声が多かった。															
		指標	新たな商品開発や品揃えについてのヒントを考えるきっかけとなったと感じた割合														
		数値目標	70.0%	実績数値	70.2%	目標達成度	100.3%										
	成果の代表事例	一店逸品ガイドが大手金融機関の目に留まり、販路拡大に繋がった。また他店の取組や品揃え等が参考になり販路開拓への取組み遺徳が高まった。															
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナ禍の中、消費の停滞が続いているが、少しずつではあるが、この冷え切った市場環境に風穴を開けるべく、引き続き個店の魅力を伝えていく。 売上アップが現状の経営環境の中では、困難な状況にあるが、コロナの影響で今後の経営環境の大きな変化を捉えた支援を行うためにも、適宜。情報提供を行うことで対応。															

泉佐野商工会議所

事業名		働き方改革からwithコロナ時代への労務管理の対策事業								
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナの影響から、先行きが見えない緊急事態の中、事業経営を取り巻く環境は大きな岐路に立たされている。感染拡大が働き方に影響を及ぼす中、コロナ終息後もいつ襲ってくるかわからない感染症を視野に入れた働き方への変革が求められており、事業と働き方のバランスを考えた新たなビジネスモデルの構築が求められている。また社員・お客様・関係者の全てを守るために3密防止に向けた「テレワーク」もポイントとなっており、業務効率を高め、また災害時に事業継続しやすくなる効果が期待できる。しかしながらwithコロナ時代の労務管理をすすめる上で、問題点が山積していることから、解決への糸口を探る。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で、すっかり働き方の概念が変わってしまったことに、労務管理についての不安を抱いている泉佐野市・田尻町の事業者 ・関空が直近にあることから空港関連の事業者等 								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>①「テレワーク導入体験セミナー」 日時 令和2年10月14日(水) PM1:00~3:00 場所 泉佐野商工会議所 4Fさくらホール 講師 (株)ソフトウェア開発 担当者 内容 テレワークの導入からその活用について <体験セミナー> 内容 ・テレワークとは ・テレワークの利点 ・テレワーク導入の方式とコスト、導入に向けての取組み ・導入事例(業種によるテレワークの事例・規模によるテレワークの事例) ・最初ではできる範囲から始めよう ・質疑応答</p> <p>②「Withコロナ時代の労務管理の問題点と働き方改革の対策セミナー」 日時 令和2年11月11日(水) PM1:00~3:15 場所 泉佐野商工会議所 4Fさくらホール 講師 社会保険労務士 内容 ・withコロナ時代の働き方の改革について ・働き方改革の今後の5つのポイント ・規定関係の在り方 ・安全配慮に関して(メンタルヘルス・リモートハラスメント 他) ・テレワーク、時差勤務時代の労務管理について ・同一労働同一賃金、ZOOM等テレワーク時代の課題 ・今後の雇用形態の変化の動き ・コミュニケーション改革元年 他</p> <p>③個別労働相談会 PM2:30~3:15</p> <p>(相談員) 大阪府労働環境課相談グループ 労働相談員</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p>								
	①府施策連携	大阪府の協力で企業用メールマガジンでの案内ができた。								
	②広域連携									
③市町村連携	役所の窓口に案内状を配架頂き、広くPR頂いた。広報誌での記事掲載によるPR。									
④相談相乗										
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	80.0	総支援企業数(実績)	27.0	支援実績率	33.8%	満足度	84.4%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	withコロナ時代の働き方改革への対策の方向性が見えてきた事業所の割合							
		数値目標	70.0%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%			
	成果の代表事例	テレワークについてのハードルの高さを緩和でき、できる範囲から始めようという意識の高まりに繋がった。働き方改革に向けての課題とその対策について、有用な情報を得られ、今後の取組みに向けてのきっかけとなった。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	コロナの終焉が見えてこない中、セミナーを通じてコロナ時代における労務管理としての新たな選択肢として、テレワークの活用は、今後、ますます高まっていくことが想定され、働き方改革をすすめる上でも重要な項目でもあることから、また満足度も高かったことから引き続き周知に努めることが重要であると考え。また働き方改革を含めたコロナ感染症への対応は、次年度もセミナー等での情報発信を深めることで、スムーズな取り組みができるように支援を考えている。								

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績／達成度をご記入ください。

実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	40.0	支援企業数(実績)	16.0	支援実績率	40.0%	満足度	86.3%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>コロナ時代の中で、従来の日常が、日常でなくなっている現在において、今後の不安を抱えていることから、新たな時代の経営や雇用の情報を、もっと知りたい、探りたい、という経営者が日々、苦悩する中、今回のセミナーを通して、この変化をチャンスと捉えて、積極的な改革をすすめることで、多くのビジネスチャンスを掴むことが可能となるということが明確になり、今後の取組を進める上でのきっかけになった経営者が多くなった。</p>							
		指標	withコロナ時代の働き方改革への対策の方向性が見えてきた事業所の割合						
	数値目標	70.0%	実績数値	75.0%	目標達成度	107.1%			
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実績／達成度①	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	40.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	27.5%	満足度	84.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>「テレワーク」について、まったく予備知識なかった経営者の方々や導入を敬遠している事業者等、IT技術の発達に伴い、導入へのハードルが下がっていることを実感頂き、部分的な導入など、どの業種でも実現できるという現状を知って頂いたことから、今後の働き方改革に向けて、新たな選択肢を増やすことができた。テレワークは企業側にも従業員側にもメリットがあるため、諸課題のために諦めるのは、勿体ないことであり、まずはテレワークについての知識を深めることが、導入への意欲向上に繋がる。</p>							
		代表指標	不安が解消され導入に向けて何らかの取組みを行った事業所の割合						
	数値目標	70.0%	実績数値	72.7%	目標達成度	103.9%			
成果の代表事例	<p>テレワークについてのハードルの高さを緩和でき、できる範囲から始めようという意識の高まりに繋がった。 働き方改革に向けての課題とその対策について、有用な情報を得られ、今後の取組みに向けてのきっかけとなった。</p>								

泉佐野商工会議所

事業名		「泉佐野グルメガイド」															
想定する実施期間		31 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること															
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	市内の小規模の飲食店はチェーン店の乱立や消費税増税などのあおりを受けて、売上・利益が伸び悩んでいる現状にある。前回のランチマップでは、支援対象目標数に届かなかった。理由として、ランチタイム時にこれ以上の混雑をさけたいという理由で断られる店舗が多くあった為である。しかし、グルメマップ自体のニーズはある為、今後はナイトマップとして事業を行い、継続していく事にした。消費者の購買意欲を喚起し、参加店への来店客数増加を目指し、今後の固定客に繋げていくことを目指す。本事業において各店舗の売上上位にあたる商品を掲載していくことによって、各店舗が他店との売れている料理の違い等を把握し、店舗の見直しにも繋がっていく事が期待される。個性のあふれる店舗として差別化を図りながら、泉佐野市・田尻町内の飲食店の発展を目指していく。															
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野市・田尻町内で駅周辺の飲食店を中心に募集する。また、本所と泉佐野市で連携している「泉佐野長者バル」の参加店ネットワーク（泉佐野市内の飲食店約65店舗が加盟・全て南海本線泉佐野駅又は羽倉崎駅周辺の飲食店）において募集を行い50社を支援対象とする。															
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>泉佐野市内の小規模店に対して募集を行い、泉佐野グルメガイド(ディナーマップ)を作成した。各店舗ごとに夜間営業時に売上の多い料理を紹介していくことで消費者側に印象の残る様なPRを広く行った。具体的には、銀行や観光案内所・市町村の関連団体等で冊子の配布を行い幅広い広報を行った。</p> <p>【手法・時期】</p> <p>①令和2年6・7・8月において掲載店舗募集（職員訪問、チラシ配布・会議所所報等にて案内）</p> <p>②令和2年9・10月上旬校正確認（各職員で参加店舗に確認）</p> <p>③令和2年10月下旬より配布開始（参加店舗、銀行、ホテル、まちの活性課、市町村関連団体等に配架依頼）</p> <p>④令和3年1月よりアンケート調査</p> <p>【参加店舗】 41店舗</p> <p><事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td>担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘り下げ等行ったが繋がるものは出なかった。</td> </tr> </table>								①府施策連携		②広域連携		③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。	④相談相乗	担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘り下げ等行ったが繋がるものは出なかった。
	①府施策連携																
	②広域連携																
③市町村連携	市民版の商工会議所ニュースを活用しPRを行った。																
④相談相乗	担当指導員等で申込や書類受取の際に、相談の掘り下げ等行ったが繋がるものは出なかった。																
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	41.0	支援実績率	82.0%	満足度	68.3									
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	前年と比べて売上が上がった企業															
	数値目標	70%	実績数値	16.5%	目標達成度	23.6%											
成果の代表事例	新型コロナウイルス感染症の影響で売上・客数が減少していた時期だった為、非常にありがたいという声を頂いた。申込に当たり、店舗の看板メニューと売上上位のメニューに乖離があることに気づくことが出来た。																
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度												
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業計画にあたって想定していた代表指標よりも大きく下回ってしまった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や時短営業を行う店舗が多かった事が挙げられる。また、緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛要請があったのも原因の一つと考えられる。しかしながら、新規の顧客が来店した事業所も多く、飲食店存続のために、次年度も引き続きディナータイムのお店を対象にガイドブック作りを続けて行く事が重要だと考える。															

泉佐野商工会議所

事業名		「生産性向上はタイムマネジメントから」セミナー							
想定する実施期間		R 元 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) 少子高齢化による労働人口の減少、長時間労働の是正といった「生産性の向上」について、中小・小規模企業においては、まだ取り組まれていない企業も多い。そこで「労働時間管理」に焦点をあてて、従業員の一人ひとりが日々の業務において、これまでのやり方にとらわれず、業務効率・生産性の向上を実現し、課題を克服する。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	経営幹部や管理職を対象とした、生産性向上に取り組む、中小・小規模企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	●開催日時：令和2年10月27日（火） 14時～16時 ●内 容：①上手な時間管理のポイント ②上手な目標管理のポイント ③7S3T目標設定メモの演習 ●場 所：泉佐野商工会議所 ●参加対象：経営者、経営幹部等							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	市役所との連携を通じて案内周知を図る								
④相談相乗	なし								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	8.0	支援実績率	53.3%	満足度	80.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講された企業においては、セミナーに対する満足度は高く、参考になった項目も多くあり、生産性の向上するためには、時間管理と目標管理が重要であることを認識頂いた。また、生産性の向上のため、取り組んでいるが不十分なところがある、有用な情報が得られたとの回答が多く、更に取組をすすめる、何らかの取組を進める等、セミナー受講により、積極的に生産性の向上への新たな課題を再認識し、内容の見直しや変更に取り組むきっかけになったものと思われる。							
		代表指標	生産性向上に取り組む企業						
		数値目標	3社	実績数値	8社	目標達成度	266.7%		
	成果の代表事例	生産性向上のためには、時間管理が有効であり、既に取り組んでいるが、有益な情報を得ることが出来た。取組み意識が向上した。などの意見があり、今後前向きに生産性の向上に取り組んで行くとの意見があった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	計画時に予定していた支援企業数は15社であったが、実際のセミナー参加者数は7社9名となった。目標数値を達成するため、広く企業への周知を行い、巡回時に代表者へセミナーを進め、当日1社2名の飛び込み参加があった。 今後も企業の課題解決に結びつくセミナー開催のため、テーマと内容の充実を図り、直接代表者、経営幹部に取り組む意識を啓発するようセミナーの開催を実施する。							

泉佐野商工会議所

事業名		働き方改革は「働きやすい職場環境づくり」から							
想定する実施期間		R 1 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	<p>(現状・課題)</p> <p>働き方改革関連法が順次施行され、中小・小規模企業にも様々な対応が求められている。少子高齢化や人手不足が進行する現在、事業を継続していくためには、従業員が多様で柔軟な働き方を選択できる体制を作ることが必須となっており、従業員の満足度にも直結している。そこで、企業は魅力ある職場環境作りに向けた取り組みを、どのように進めればよいのか。企業が必要な人材を確保し、競争力を維持・向上させるために、従来の働き方を見直し、中小・小規模企業が「働きやすい職場環境づくり」取り組み課題を克服する。</p>							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	経営者、管理職を対象とした、職場環境改善に取り組む、中小・小規模企業							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●開催日時：令和3年2月25日(木) 13:30から16:30</p> <p>●内 容：第1章：魅力ある「職場環境」とは 第2章：大企業が実践している「働き方改革」 第3章：実際どのように手をつければいいのか 第4章：5S活動の取組みについて（事例紹介）</p> <p>●場 所：泉佐野商工会議所</p> <p>●参加対象：経営者、経営幹部等</p>							
		<事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
②広域連携									
③市町村連携	市役所との連携を通じて案内周知を図る								
④相談相乗	なし								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	40.0%	満足度	80.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>受講された参加者においては、セミナーに対する満足度は高い。「働きやすい職場環境づくり」については、取り組んではいるが不十分なところがあるとの回答が多くあったが、セミナー受講により、「取組み意識が向上した」や「すでに取り組んでいるが有用な情報が得られた」など、企業が改善しようとする前向きな回答が多く見受けられ、更に取組をすすめるや何らかの取組みを考える等、積極的な「魅力ある職場環境づくり」へのきっかけになったものと思われる。</p>							
		代表指標	働きやすい職場環境づくりに取り組む企業						
		数値目標	5社	実績数値	6社	目標達成度	120.0%		
	成果の代表事例	<p>これまでは、独自のやりかたで、出来る時に出来る範囲でしか取組めていなかったが、5S活動の取組み事例をとおして、時間を取って継続して取り組むことが重要であることを認識することができた。本セミナーにより、取組み意識が向上し、取組みを考えるきっかけとなった。</p>							
その他目標値の実績	目標値(計画)	目標値(実績)			目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>計画時に予定していた支援企業数は15社であったが、実際のセミナー参加者数は5社7名となった。目標数値を達成するため、広く企業への周知を行うとともに、個別にFAXによる参加依頼を行った。巡回時にも代表者へセミナー参加を進め、2社3名の参加があった。</p> <p>講師は大手メーカー出身であり、経験と実績から参加者には好評であった。企業の多種多様な課題解決に結びつけるセミナー開催のため、企業の代表者、経営幹部からのヒアリングを継続するとともに、内容の周知と啓発に努める。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		創業支援連続講座事業							
想定する実施期間		R 2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) ビジネスを「創る」ための確かな「プロセス」を身につけることができ、未来に向け「前進した」という手ごたえを感じることができるようになり、一緒に夢に向かって歩いていく「仲間」ができる。特に女性については、育児や家庭という特有の悩みを共有し、励ましあえる仲間づくりの場を提供でき、創業へ向けての後押し効果となり、創業促進に繋げる。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	起業を目指している方又は起業後、間もない方							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>【第1回】 12月2日(水) 18時30分～20時30分 ビジネスプランの立て方 (ビジネスプランのための財務会計と管理会計) 【財務】 ①売上計画・売上高の予測 ②利益計画・損益分岐点の考え方 ③資金計画・着実なスタート</p> <p>【第2回】 12月8日(火) 18時30分～20時30分 1. ノウハウの確立方法 【人材育成】 ①基本+オリジナル ②シンプルなマニュアルの作成 ③人への伝え方(オンリーワンの創造と人材育成) 2. 社会保険と労働保険について</p> <p>【第3回】 12月16日(水) 18時30分～20時30分 1. 粘り強い経営 【経営】【販路開拓】 ①管理を行う PDCA ②間断なき経営改善 ③マーケティング思考の経営</p>							
		<事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携							
③市町村連携	市役所との連携を通じて案内周知を図る								
④相談相乗									
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	10.0	総支援企業数(実績)	11.0	支援実績率	110.0%	満足度	98.0
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	代表指標	創業を目指してこれから準備をはじめの方の割合						
		数値目標	70%	実績数値	65%	目標達成度	92.9%		
	成果の代表事例	セミナー参加により、志望動機を改めて認識され、詳細な事業計画の立案と開業時期を設定することの重要性を認識されたことにより、創業意識が高まった。							
	その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	<p>今回の参加者は、女性の参加者が13名中7名と多かった。女性の社会進出のひとつとして、創業への関心が高まっている現われであったと見受けられる。セミナー自体の満足度は高く参加者はそれぞれの課題が明確で、その解決に向け前向きな姿勢で臨まれている。そのため事業を立ち上げるうえで、本格的な知識を吸収できる本セミナーは有効であると思われる。金融機関からの紹介で参加された方もおられ、より具体的に創業を進めておられるかたも参加されていた。</p> <p>「自ら事業を立ち上げたい」と思われている方にとって、本セミナーは有効であり、潜在的な創業希望者を掘り起こすためにも広く事業を周知、実施していく。</p>							

泉佐野商工会議所

事業名		IT/IoT導入支援事業							
想定する実施期間		R 2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	(現状・課題) コロナ感染症対策として、またアフターコロナでの対応としても、生産性の向上など、小規模事業者にとって、取り組まなければならない課題がある。しかしながら規模が小さいことに起因する改善意識の低下や資金面での課題等、克服していかなければ、今後の経営環境の変化に遅れをとることとなり、様々な面で、小規模事業者にとっての競争力が失われる恐れがあり、これらの課題解決に向けての意識改革を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野・田尻地域の事業所で、省力化、業務改善に向け「IT化」を意識する経営幹部や管理職							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<ul style="list-style-type: none"> ●開催日時 令和3年2月9日(火) PM3:00~5:40 ●内 容 ・小規模事業者を取り巻くITの環境変化 ・小規模事業者が活用可能なIoTツール ・小規模事業者のIoT導入紹介 ・ITを活用した業務改善・生産性向上のために ●場 所 泉佐野商工会議所 研修室 ●内 容 (PM3:00~5:00)「IT/IoT/AI活用セミナー」：講師 中小企業診断士 (PM5:00~5:10)「大阪府の施策等の紹介」 説明 大阪府IT/IoT推進ラボ担当者 (PM5:10~5:40)「個別相談」なし ※質疑応答で対応 ●協 力 大阪府IoT推進ラボ 							
		①府施策連携	大阪府の中小企業支援室ものづくり支援課技術支援グループと連携(商工NO.22コロナパッケージ②)						
		②広域連携							
	③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	3.0	支援実績率	20.0%	満足度	86.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	小規模事業者は経営者に業務が集中し、IT導入等による業務効率化が急務となっていることを認識頂き、IT導入等により、幅広い業種で多能工化・兼任化の取組が進展し生産性向上に寄与していること等を理解頂いた。また目的別のIT活用事例や期待される効果、ITを導入することについて考えるべきこと、改善の手順等、系統立てた説明を頂き、導入についての障壁の高さを、抑えることができたと思う。特に実際に活用している事業者を紹介頂いたことで、今後の取組についての意識の向上に繋がった。またIoTについても具体的な導入事例の紹介があり、今後の検討について、より幅広い視野で検討することができると思われる。							
		代表指標	IT/IoT化への取組み意識の向上						
		数値目標	70.0%	実績数値	86.7%	目標達成度	123.9%		
	成果の代表事例	取組み意識が向上した、もしくは有益な情報を得ることが出来たなどの意見があり、今後前向きにIT/IoT活用について検討されるという姿勢が見受けられ、ITの活用についての関心を高めることができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	競争の激化での収益性の確保をIT/IoT導入で期待されており、コストの問題や人材育成についての課題があるので、今後、情報提供等、適宜、行っていく。今後、開催の折りには開催時間を、もう少し早くして、急なキャンセルが出ないように対処していく。また内容の充実を図ると共に、周知期間をある程度確保することで、PRできる媒体も増えるので、PRを徹底したい。							

泉佐野商工会議所

事業名		BCP感染症対策セミナー							
想定する実施期間		R 2 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 <small>（現状や課題をどのような状態にしたいか）</small>	<p>（現状・課題） 従来より、BCPについては「自然災害」に特化した活動が進められているが、今回の新型コロナウイルスのような感染症対策までカバーできていないケースが多い。そこで新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、「コロナ禍」でも企業活動を継続するためのヒントを得て、有利な対策へ取り組みやすくすると共に、BCPの作成に向けての意欲を高める。</p>							
	支援する対象 <small>（業種・事業所数等）</small>	新型コロナウイルス感染症による企業活動の継続について、リスクを感じている小規模事業者の経営幹部や管理職を対象							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●開催日時 令和3年2月22日（月）PM1:30～5:00 ●場 所 泉佐野商工会議所 研修室 ＜パート①＞PM1:30～3:00 （テーマ）「新型コロナの最新情報と職場の守り方」～どう備え、どう伝えるか～ （講師）大学教授 （内 容）・新型コロナウイルス感染症の最新情報・最新知見 ・事業運営に必要な対策 等 ＜パート②＞PM3:00～4:30 （テーマ）「BCP啓発セミナー」 （講師）コンサルタント （内 容）・新型コロナ感染症対策とBCPの基礎 ＜パート③＞（PM4:30～4:40）「大阪府より施策の紹介」 ＜パート④＞（PM4:40～5:00）「個別相談会」は相談者無し</p>							
		①府施策連携	大阪府の経営革新グループと連携(商工NO.9コロナパッケージ①)						
		②広域連携							
	③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	12.0	支援実績率	80.0%	満足度	73.3
	目標の達成度 <small>（支援企業をどう変化させることができたか）</small>	<p>今回のセミナーの主な内容はパート①では、①新型コロナウイルス感染症の正体（感染症の臨床経路、飛沫感染と飛沫核感染、ウイルスはどこでどれだけ生存、ウイルスが取りつきやすい場所、基礎疾患と重症化リスク、血栓のリスク、コロナ後遺症、ワクチンのオペレーション他） ②我々はどうつきあってゆくか（事業所での対策、消毒、感染者の職場復帰の考え方、「陰性証明書」の考え方、新型コロナと確定しなかったカゼ症状の取扱い、食事の場の点検、他） ③コロナをどう伝えてゆくか（リスクコミュニケーション、クライシスコミュニケーション 他） ④最新情報の収集方法等について講義頂いた。パート②では、①防災と事業継続の違い ②BCP策定のポイント ③事業継続力強化計画 ④支援制度の活用 ⑤『超簡易版BCP 「これだけは！」シート』等について、説明頂いた。そして大阪府経営革新グループより、①災害時の一斉帰宅についての留意点 ②飲食料等の備蓄 ③安否確認・情報収集手段の確保について ④電気自動車・燃料電池自動車等の活用 ⑤「簡易版BCPシート（自然災害・感染症対応）」の提供・策定支援について説明、参加者からは今後BCPを取り組むにあたってのきっかけになりそうだという声を多く頂き、地域でのBCPへの関心度がアップしたと思われ、其々の社内で従業員への意識の拡大が期待できる。</p>							
		代表指標	簡易版BCP[これだけは！]シート等のBCP作成企業数						
		数値目標	15.0社	実績数値	7.0社	目標達成度	46.6%		
	成果の代表事例	参加者のほとんどは、BCPへの取組を、まだされていない事業所であったが、今回のセミナーを受けられて、必要な対策をたてるきっかけになりそうだ、という事業所が増え、またBCPへの期待度も上がった。							
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み <small>（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</small>	今後、BCPに取り組むについて、もっと情報を吸収したいという声があるので、引き続き情報提供を行う事で、少しずつでもBCP作成に取り組めるようにサポートする。セミナー開催以外でも広報媒体を通じて、BCPについての関心が高まるように、情報提供を心掛ける。							

泉佐野商工会議所

事業名		ワーク ライフ バランス啓発セミナー							
想定する実施期間		R 2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 <small>（現状や課題をどのような状態にしたいか）</small>	<p>（現状・課題） 仕事と生活の調和が実現すれば、仕事以外の生活の充実により、仕事へのモチベーションがアップし、また長時間労働の改善により、限られた時間内での業務効率を考え、生産性の向上が期待できます。少子高齢化の進展に伴い労働力人口の減少が見込まれる中、女性や高齢者など、これまでさまざまな事情で仕事と生活を両立できなかった人たちの就業が可能になり、企業にとっても、働きやすい労働環境を整備することにより、経営の安定を図ることができる。</p>							
	支援する対象 <small>（業種・事業所数等）</small>	2019年4月に、「働き方改革推進」の法律が施行され、働き方改革とワーク ライフ バランスの実現に向けて、待たなしの状況にあり、仕事と生活の調和の実現を目指し模索している経営者・経営幹部							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>●開催日時 令和3年2月18日（木）PM1:30～3:00 ●場 所 泉佐野商工会議所 研修室 ●内 容 「ワーク ライフ バランス啓発セミナー」 ・なぜ、ワーク ライフ バランスが注目されているのか ・企業体質改善による価値の向上 ・どのように取り組むことで、働きやすい労働環境を整備することができるのか等 ●講 師 大学教授 ●大阪府関連施策の紹介</p>							
		①府施策連携	大阪府の雇用推進室労働環境推進グループと連携しながら実施する。（労働NO.11コロナパッケージ⑤）						
		②広域連携							
	③市町村連携	市役所・町役場との連携を通じ、事業の周知							
	④相談相乗								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	7.5	支援実績率	50.0%	満足度	97.8
	目標の達成度 <small>（支援企業をどう変化させることができたか）</small>	ワークライフバランスの実現に向けて、取り組みを検討すべき課題がわかり、今後の実践に向けての意識に加速がついた。また地道な取り組みの積み重ねが重要であることを理解頂き、ワークライフバランスを実現させるためのポイントを整理して、具体的手法を検討し易くなった。							
		代表指標	ワーク ライフ バランスへの取り組み意識の向上						
		数値目標	70%	実績数値	50%	目標達成度	71.4%		
	成果の代表事例	このセミナーを機に、自社のワークライフバランスへの取り組みを検討する等、前向きな意見を伺うことができた。また様々なヒントを与えて頂いた、という感想が寄せられた。参加された企業においては、満足度が高く、取組意識が向上した。							
その他目標値の実績	目標値（計画）		目標値（実績）		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み <small>（実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか）</small>	ワークライフバランスに対する周知が乏しかったこともあり、経営者自身の準備認識が不足しており、参加者が少なかったことが反省点である。しかし参加者のアンケートから、満足度や実践する上で気をつけたいことなど、今後、進めていく中での課題が明確になり、適宜、支援していく。							

泉佐野商工会議所

事業名		就職フェア（合同就職面接会）							
想定する実施期間		R2 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	新型コロナウイルス感染症のため、厳しい雇用情勢の中にあるが、新型コロナの収束が見据えてこれからの成長企業と求職者のマッチング機会を設けることで、企業の人材獲得に貢献し、地域の雇用促進を図る。企業にとっては将来の展開のために、優秀な人材を確保する絶好のチャンスである。また、学生等と中小企業とが直接交流することにより、中小企業への理解を深めて頂く。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	泉佐野公共職業安定所（泉佐野～阪南市）の管内事業所外、又は、関西国際空港やりんくうタウンの事業所への参加募集を行う。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	・開催日 令和2年10月14日（水）PM1：00～PM5：00 ・会場 関西エアポートワシントンホテル 1F リヴァージュ ・内容 ①就職希望の中途採用者・パート・アルバイト・既卒者・大学生、短大性、専門学校生と求人企業が個別に面接を行う。②ハローワークコーナー③労働相談・情報コーナー ④自己PRポイント発見セミナー⑤ワンポイントメイクアップコーナー ⑥若年者就労相談・就職者へのPR新聞折込チラシ、近隣商業施設公共施設・掲示板等へのポスター掲示、立て看板 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携	大阪府総合労働事務所南大阪センターの支援により、職業適性診断コーナーの開催ができた。						
		②広域連携	熊取町商工会・泉南市商工会・阪南市商工会、岬町商工会の協力で、参加企業数が確保できた。						
③市町村連携		泉佐野市、田尻町より、ポスターの掲示及び市報・町報のPRの協力体制ができた。							
④相談相乗	事業実施後に、カルテ化に取り組んだ。								
事業の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	支援企業数(計画)	35.0	支援企業数(実績)	25.0	支援実績率	71.4%	満足度	49.7
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	25社の事業所より、正社員4名が採用された。採用された方々は事業所で、それぞれ業務につくことができ、雇用促進の一助とすることができた。また、事業所においても、事業を継承していく人材を得ることができ仕事の効率を上げることができた。							
		指標	若者との面談ができた事業所の割合						
		数値目標	70%	実績数値	26%	目標達成度	37.1%		
	成果の代表事例	4名の方々と面接ができ、その中で1名営業の方を採用することができた。							
その他目標値の実績	目標値(計画)	35	目標値(実績)	25	目標達成度	71.4%			
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	ザ・ワークフェア2020（合同就職面接会）の会場で、企業側と求職者側の双方の希望や条件も有り、採用に至ることは難しいが今後も1人でも多くの方を採って頂くよう、採用意欲のある事業所に参加して頂き、多くの求人の方々が、雇用して頂けるよう今後も継続して取り組んで行きたい。							

泉佐野商工会議所

事業名		訪日外国人満足度増加セミナー								
想定する実施期間		H 30 年度～ R2 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること								
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、日本全体で海外からの観光客が増加しており、泉佐野にも多くの観光客が訪れている。旅行の目的も当初は「爆買い」という言葉通り買い物を目的とした旅行から、最近では自然や、日本の文化を楽しむというような体験型旅行に変化しつつある。 そこで迎える側として重要なのが、日本の文化や習慣を押しつけるのではなく、海外の文化や習慣を理解しおもてなしすることが大切である。海外の文化や習慣を理解し、コミュニケーション方法を学び、インバウンド対応への不安やストレスを減らしつつ、訪日観光客に満足して日本を楽しんでもらえることを目的として上記セミナーを開催した。								
	支援する対象 (業種・事業所数等)	広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で、サービス業や飲食業などを営んでおり、外国人と接客する機会の多い事業所15社（泉佐野：5社、岸和田：5社、貝塚：5社）を想定。								
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所に於いて、当所幹事、近隣（岸和田、貝塚）との広域連携を図り、ビジネスに係る講師を招き、挨拶から接客に係る簡単な用語まで外国人観光客への対応に必要な知識と接客・接遇についてレクチャーした。 【日時・場所】 令和3年2月1日（月）及び2日（火）14：00～16：00 泉佐野商工会議所 4F さくらホール								
		＜事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載＞								
		①府施策連携		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開			③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知ができた	
	④相談相乗	個別相談を募って事業所の相談に応じる形だったが、個別相談の希望がなかった								
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	15.0	総支援企業数(実績)	6.0	支援実績率	40.0%	満足度	95.0%	
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	外国人との文化の違いを知ることができ、宗教やインバウンドの現状についても理解を深めることができた。アンケートによるレスポンスからも多くの参加者が前向きにコミュニケーションを取っていききたいとの回答が得られている。								
		指標	訪日外国人へのコミュニケーション対策を検討する企業数							
		数値目標	70%	実績数値	40%	目標達成度	57.1%			
	成果の代表事例	本セミナーを受講された企業の方の中には、現在の事業でインバウンド対策をしたことがないとのことでしたが、本セミナーを受講後、インバウンドへの取り組みを準備されるとのこと。								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度					
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	事業計画作成時においてセミナーの需要は、過去2年間の実績から高いと予想された。しかし、情勢が変化してしまい、現在、新型コロナウイルス感染拡大によりインバウンド需要が激減している。それに比例する形で参加企業数が過去2年に比べて減少している。今後、インバウンド対策を目的としたセミナーの開催を行う場合は、コロナ収束後、インバウンド需要が回復してからの開催を目指す。								

泉佐野商工会議所

事業名		IT活用販路開拓支援事業							
想定する実施期間		H 29 年度～ 年度まで ※複数年度段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること							
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	近年、販路開拓においてWebを用いた手法が増え続けている。企業の大小に関わらず、自社商品のプロモーションにSNSを活用することやECサイトへの出店をすることで新規顧客層への開拓を行っている。H29年度に行ったプチビジネススタートアップ&フォロー事業でも、多数の参加者がそういったWebを用いた手法が参考になり、役立ったとの回答があった。それを受けてニーズのあった同事業をITへの販路開拓へ特化させ実施する運びとなった。中小の企業だけでなく、前回のプチビジネススタートアップ&フォロー事業のように小商い化に繋がる起業までの流れまでも踏襲して行く。そうすることにより、地域事業の活性化や地域の小商い事業者の発掘とビジネス化を図る。							
	支援する対象 (業種・事業所数等)	広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で、サービス業や飲食業などを営んでおり、外国人と接客する機会の多い事業所15社（泉佐野：5社、岸和田：5社、貝塚：5社）を想定。							
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	泉佐野商工会議所に於いて、当所幹事、近隣（岸和田、貝塚）との広域連携を図り、ビジネスに係る講師を招き、ITを用いた販路開拓の手法や顧客へのアピール方法などの講義を行った。 ・開催日 令和2年2月24日（水）午後2時～4時30分 3月12日（金）午後2時～4時30分 ・場所 泉佐野商工会議所 ・内容 24日 1. 激変したコロナ以降の状況を把握 2. リピーターの確保と新規顧客を開拓する 3. オンライン商談で欠かせないツールを使いこなす 12日 1. ブランド力を強化する、お店・会社より、商品より人を意識させるブランディング 2. 使う言葉が印象を変える。心に響くキャッチフレーズの作り方 3. 角度を変えて商品を再認識。顧客目線で物事を考える 4. 公式サイトほかに商品を強烈にアピールするランディングページを作成 <事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載>							
		①府施策連携							
		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開						
	③市町村連携	市民版の商工会議所ニュース等により幅広い周知ができた							
	④相談相乗	個別相談を募って事業所の相談に応じる形だったが、個別相談の希望がなかった							
事業全体の実績／目標達成度	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	20.0	総支援企業数(実績)	31.0	支援実績率	155.0%	満足度	71.4%
	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	受講された方には「SNSはお金がかかったり、不透明なイメージから不安があって、敷居があ高いイメージがあったが、PRの為に使えるようになりたいと思った」等、前向きな変化が見られた。							
		指標	ITを用いた販路開拓の方法に理解が深まった企業数						
		数値目標	70%	実績数値	97%	目標達成度	138.6%		
成果の代表事例	SNSを用いてPRを行っている事業所がランディングページの作成に意欲を持ち、無料で1枚のランディングページを作成できるサイトを使って、作成に取り組んでいる								
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度				
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	当年度は新型コロナウイルスの影響により、各企業がオンラインへの進出に意欲的な傾向であった為、多くの受講者が参加する形になり、意義のある講義になったと感じた。今回、初めてオンラインでのセミナーを開催したが、まだまだ不慣れの点もあり、トラブルも発生してしまった。次回以降へのオンラインセミナーでは、トラブルの無いように改善を行っていきたいと考える。							

泉佐野商工会議所

事業名		説明力向上セミナー～相手に伝わる説明スキルを身につける～														
想定する実施期間		R1 年度～ 年度まで ※複数年段階的实施事業は別紙にて計画を提出すること														
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	IT化とネットワーク化で機械に仕事を奪われ、激化するグローバル競争と海外への業務アウトソースによってビジネス環境は大きく変化している。日本企業においても社員の専門性やスキルを高め、差別化商品や自社だけのサービスを生み出すことが可能な人材を育成しなければ、生き残れない時代となっている。また、人材育成は経営戦略の要として人事部だけの仕事ではなく組織的に取り組むべき最重要課題であると考えられる。そこで若手社員・中堅社員・人事担当者が業務を行なうにあたって必要なスキルを習得し、企業としての組織基盤の強化につなげていくことを目的としたセミナーを実施した。														
	支援する対象 (業種・事業所数等)	業種は問わず、広域連携にて泉佐野市、岸和田市、貝塚市の各市域における事業所で、若手社員・中堅社員・人事担当者等を対象として、21社（泉佐野：7社、岸和田：7社、貝塚：7社）を想定。														
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>開催日時：2021年2月15日(月) 13:30～16:30 開催場所：泉佐野商工会議所 4Fさくらホール テーマ：説明力向上セミナー</p> <p>①説明力とは？ 1分間説明トレーニング(ワーク)、わかりにくい説明・わかりやすい説明</p> <p>②説明に必要な条件とは？ 説明内容の理解、聞き手の分析、聞き方トレーニング(ワーク)</p> <p>③わかりやすい説明方法 伝えたいことを整理する、伝えたいことを要約する、説明をわかりやすくする具体例</p> <p>④まとめ 即題トレーニング(ワーク)、即時に説明する、考えて説明する 【今回の改善内容について】 次年度は開催日前に申込者へ確認の連絡をすることで、当日キャンセルを防ぐ。</p> <p><事業手法(①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果)の具体的な連携・効果を記載></p> <table border="1"> <tr> <td>①府施策連携</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②広域連携</td> <td>泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開</td> </tr> <tr> <td>③市町村連携</td> <td>各市町村の関係窓口での開催案内の周知</td> </tr> <tr> <td>④相談相乗</td> <td></td> </tr> </table>							①府施策連携		②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開	③市町村連携	各市町村の関係窓口での開催案内の周知	④相談相乗	
	①府施策連携															
	②広域連携	泉佐野・岸和田・貝塚のエリアにおいて会報・案内チラシ・HP等、PR活動の展開														
③市町村連携	各市町村の関係窓口での開催案内の周知															
④相談相乗																
計画に対する実績(数値)	総支援企業数(計画)	21.0	総支援企業数(実績)	26.0	支援実績率	123.8%	満足度	93.5%								
目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	相手の状況、予備知識、知りたい内容に合わせて、相手が理解しやすいように伝える方法などの『説明力スキル』が本セミナーを通じて身につけ、企業としての組織基盤の強化につなげることができた。															
	代表指標	説明力の向上につながったと回答														
	数値目標	80%	実績数値	97.0%	目標達成度	121.3%										
成果の代表事例	受講された方から、「電話での予約や説明を行う時に今回の内容を照らし合わせ見直しやステップアップに役立てたい」「準備の必要性を改めて認識することができました」との意見をいただくことができた。															
その他目標値の実績	目標値(計画)		目標値(実績)		目標達成度											
実施結果	課題及び次期以降への取組み (実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	本セミナーでは若手社員だけでなく人事担当者や経営者など、幅広く参加をしていただくことができた。アンケートの「日頃、仕事を進めていく上で、抱えている課題」の自由記述では、「スタッフ・従業員への説明の仕方、近年の新入社員への対応【経営者】」「会議での上司への報告の仕方【若手社員】」など企業内でのコミュニケーションに対して悩みを抱えている受講者が多く見受けられた。こうした課題は、若手社員の離職率に大きく影響すると考えられるため、経営者・若手社員とそれぞれの視点にフォーカスした取り組みが必要だと感じた。														